

基本指針イメージ図

文化力とは

文化力は、大別すると、
・「芸術」そのものの存在、価値により人に感動や刺激、生きる喜びなどを与える力(固有力、可能性)
・経済、地域コミュニティ、福祉などの社会資本に働かせる力(パワー)
・人を熱狂に駆り立てる力(フォース)
前の2つの力は、京都の文化に、特に豊かに蓄積

<文化力の具体的な例示>
豊かな人間性を涵養する力
心豊かな地域社会を実現していく力
より質の高い経済活動を実現していく力
科学技術の発達が人類の真の発展に貢献するものとなるよう支える力
世界平和の礎を築く力

文化芸術と文化力との関係

伝統文化(有形・無形文化財)は、我が国文化の形成過程や先人の叡智を現代に伝える決定的な役割
京都の文化の特徴
・豊かな精神性(「しつらい」、「もてなし」、自然との共生等)
・異なる価値観の尊重、多様性への寛容
・創造力、学問・技術・意匠等の知的資産
・地域の重層的で個性豊かな文化
今も本来の輝きを放ち、日々の生活に深く浸透し、暮らしを豊かに
伝統産業や地域の個性豊かな伝統祭事などと密接に結びつくことにより、相乗効果を発揮しながら、文化そのものの発展と地域・経済の活性化が促進
多様な文化芸術の振興により、新たな文化創造と次世代育成、地域コミュニティの向上、経済活性化等、文化力による京都の活性化に向けた環境が形成

基本理念

- 府民が、等しく、文化に親しみ、参加、創造できる環境の下での文化活動の活発化
- 京都の文化の継承、発展と文化を大切にする気運の醸成
- 魅力ある文化が息づく地域社会の実現
- 豊富な知的資産を活用した活動が活発に行われる環境の整備・創造性豊かな社会の実現
- 基礎的な学問、研究等の振興への配慮
- 人間尊重の価値観を涵養する文化の役割への配慮
- 文化芸術振興基本法の趣旨を踏まえた多様な文化の振興

基本施策

- 京都の文化の継承・発展・創造**
 - 文化に触れ、親しむ機会の提供
 - 文化公演等への支援
 - 顕彰
- 文化的創造物を創造する者への支援**
 - 創造、成果発表機会の提供
- 歴史的・文化的な景観の保全等**
 - 保全・再生に取り組む活動に関する情報提供等
- 地域における文化の振興等**
 - 地域の文化公演等への支援
 - 固有の伝統芸能等に関する活動への支援
 - 文化活動の支援者育成、コーディネーター、観光・教育・福祉等の分野で活動する者の相互交流機会の提供
- 学校教育等における文化活動の充実**
 - 文化体験学習の充実、協力者への支援
- 次世代の文化活動の充実等**
 - 次世代を対象とする公演等、文化活動への支援
 - 多世代の支援の下での次世代文化体験・創造機会の提供
- 知的資産の活用**
 - 技術、意匠等の知的資産活用促進のための情報提供等
- 文化的創造物に係る起業化等支援**
 - 起業化支援、事業活動支援
- 文化資源の観光資源としての活用**
 - 文化資源の魅力を高める活動支援、文化資源に関する情報発信
 - 文化資源の広域的観光資源化に向けた、活動を行う者の相互交流機会の提供等

↑
推進体制